

【銘柄入れ替えのお知らせ】

## FactSet Japan Semiconductor Index

2644

グローバルX 半導体関連-日本株式 ETF

2025年7月31日

平素は当ETFをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
指標算出会社より、7月の定期リバランスが行われましたのでお知らせいたします。

## 新規採用・除外銘柄

| 新規採用銘柄 |        | 除外銘柄  |
|--------|--------|-------|
| 287A   | 黒田グループ |       |
| 6941   | 山一電機   | ありません |
| 6957   | 芝浦電子   |       |

## 対象株価指数の銘柄選定プロセス（概要）

## 国内上場株式（東証）

## スクリーニング

時価総額 : 300億円以上  
3か月間の1日平均売買代金 : 2億円以上

## 組入候補銘柄

## 半導体関連銘柄の抽出

## 投資候補銘柄

## 銘柄の選定

ポートフォリオ  
30銘柄以上

## 以下の基準を満たす銘柄を抽出\*

\*FactSet社独自の業種分類（RBICS Level6）を使用

## [Pure Play銘柄（正構成銘柄）]

半導体の製造・流通及び半導体製造装置に関連する産業の売上高比率が50%以上の企業

## [Quasi Play銘柄（準構成銘柄）]

- 半導体の製造・流通及び半導体製造装置に関連する産業の売上高比率が25%以上50%未満の企業
- 半導体の素材・部品に関連する企業

## ➤ Pure Play銘柄（正構成銘柄）でポートフォリオを構成

Pure Play銘柄が30銘柄未満の場合、Quasi Play銘柄の中から浮動株調整後時価総額が大きい銘柄を合計30銘柄になるまで組入れ

## ➤ 浮動株調整後時価総額加重でウェイト付け

- 1銘柄当たりの上限10%
- Quasi Play銘柄（準構成銘柄）の上限30%

銘柄入れ替えおよび構成比率調整：年2回（1月、7月）

※上図はポイントを抜粋したものです。詳細は[こちら](#)をご参照ください（出所）FactSetよりGlobal X Japan作成



## 指数構成 全35銘柄

新規採用銘柄

| コード  | 銘柄名              | 比率    |
|------|------------------|-------|
| 6857 | アドバンテスト          | 10.0% |
| 6146 | ディスコ             | 10.0% |
| 6723 | ルネサスエレクトロニクス     | 10.0% |
| 6920 | レーザーテック          | 10.0% |
| 8035 | 東京エレクトロン         | 10.0% |
| 7735 | SCREENホールディングス   | 7.8%  |
| 6963 | ローム              | 5.4%  |
| 6525 | KOKUSAI ELECTRIC | 4.4%  |
| 6526 | ソシオネクスト          | 3.9%  |
| 3436 | SUMCO            | 3.7%  |
| 6856 | 堀場製作所            | 3.1%  |
| 7729 | 東京精密             | 3.1%  |
| 3132 | マクニカホールディングス     | 2.2%  |
| 6728 | アルバック            | 2.1%  |
| 6770 | アルプスアルパイン        | 2.0%  |
| 6323 | ローツエ             | 1.5%  |
| 6707 | サンケン電気           | 1.5%  |
| 6871 | 日本マイクロニクス        | 1.3%  |

| コード  | 銘柄名             | 比率   |
|------|-----------------|------|
| 6590 | 芝浦メカトロニクス       | 1.1% |
| 6315 | TOWA            | 1.0% |
| 6055 | ジャパンマテリアル       | 0.8% |
| 268A | リガク・ホールディングス    | 0.7% |
| 6957 | 芝浦電子            | 0.6% |
| 167A | リヨーサン菱洋ホールディングス | 0.6% |
| 6875 | メガチップス          | 0.5% |
| 2760 | 東京エレクトロンデバイス    | 0.4% |
| 7433 | 伯東              | 0.4% |
| 6941 | 山一電機            | 0.4% |
| 6929 | 日本セラミック         | 0.4% |
| 6235 | オptron          | 0.3% |
| 3445 | RS Technologies | 0.3% |
| 6855 | 日本電子材料          | 0.2% |
| 6266 | タツモ             | 0.2% |
| 287A | 黒田グループ          | 0.1% |
| 6627 | テラプローブ          | 0.1% |

※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。四捨五入の関係で100にならないことがあります。  
(注) 構成比率はデータ基準日の7月11日時点



## 半導体株投資のポイント

図1のように、4月のトランプ関税ショックの際には半導体関連株も大きく売られ、下落率は直近の高値から50%を超えるました。しかし、その後、売られすぎの反動やエヌビディアやブロードコムなどの米半導体大手の好調な決算を受け、足元は急激に株価が戻ってきてています。

図2にあるように半導体株は調整後、その時点の高値を抜けると数年単位の上昇トレンドに入り、次の高値まで大きく上昇する傾向があります。足元、4月の急落から反転して戻りを試している最中ですが、いまだ調整局面とされる20%を下回っている状態です。直近の高値を抜けてくれば上昇トレンドに入る可能性は高まると考えられます。

半導体は中長期的に成長が見込まれている産業です。これまでではゲーム機やデジタル家電、PC、スマートフォンなど消費者向けの電子機器がけん引する形で順調に拡大してきました。今後はAIや5Gなどデジタル化の進展に伴い幅広い用途で需要が高まり、世界の半導体市場は2030年に約1.1兆ドルに拡大すると予測されます。

そのため、早い段階から半導体への投資を始めるここと、また短期的な下落に動搖せず長期的なスタンスで取り組むことがリターンを最大化するコツだと考えています。

**図1：最高値からの下落率**

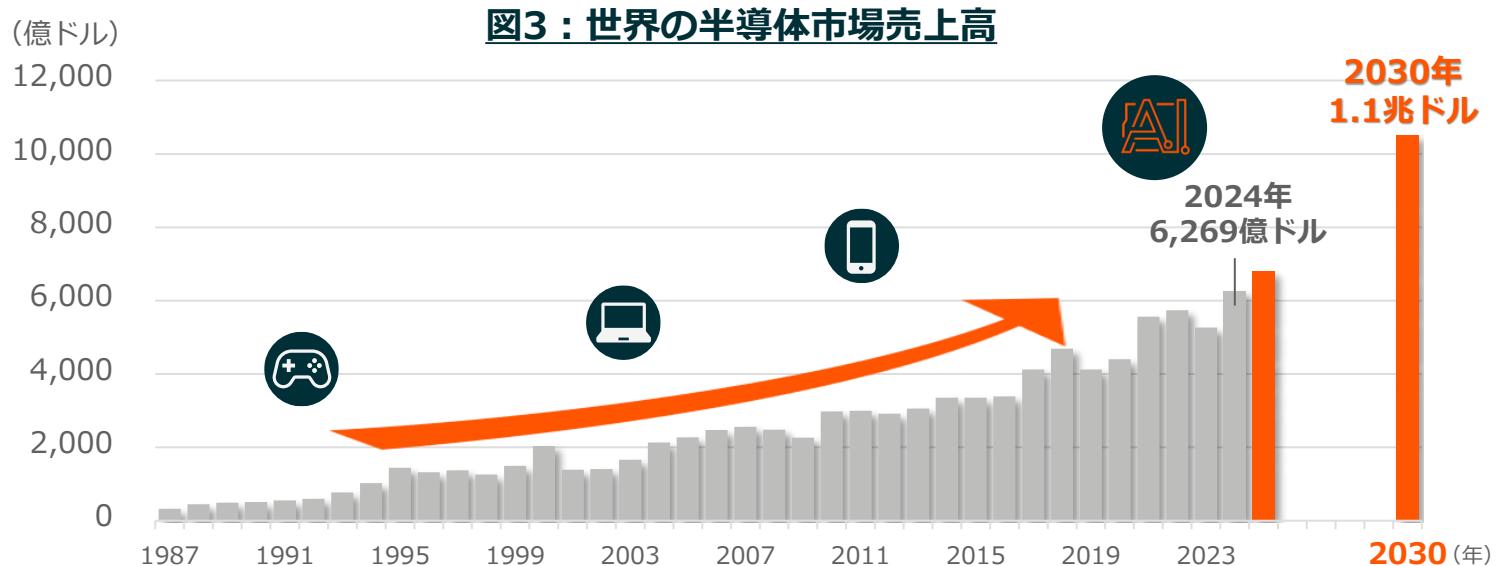


**図2：パフォーマンス**



※過去のパフォーマンスを示しており、将来の成果を保証するものではありません。（注）対象株価指数の算出開始日は2021年8月11日。算出開始日前の指標に関する情報はすべて、算出開始日において有効なメソドロジーに従い、仮説に基づいて指標算出会社がバックテストしたデータ。期間は2017年1月31日から2025年7月28日。起点を100として指標化、日次（出所）BloombergよりGlobal X Japan作成

**図3：世界の半導体市場売上高**



（注）1987年から2024年まで実績、2025年と2030年は予想（出所）WSTSおよびSIA（1987年～2024年）、ASMLよりGlobal X Japan作成



# ディスクレーマー

## <ファンドの目的>

信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を「FactSet Japan Semiconductor Index (配当込み)」の変動率に一致させることを目的とします。

## <投資リスク>

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。**投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## <ファンドの費用>

| 投資者が直接的に負担する費用      |  |  |
|---------------------|--|--|
|                     | 料率等  | 費用の内容                                  |
| 取得時手数料              | 販売会社が定めるものとします。  | 取得時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額             | ありません。   | —                                      |
| 交換時手数料              | 販売会社が定めるものとします。  | 受益権の交換に関する事務等の対価です。                    |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |  |  |
|                     | 料率等  | 費用の内容                                  |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | 毎日、次のイ、ロの額に口、の額を加算して得た額<br>イ、信託財産の純資産総額に年率0.649%（税抜0.59%）以内を乗じて得た額<br>ロ、信託財産に属する優先証券の貸付けにかかる品貸料に55%（税抜50%）以内の率を乗じて得た額  |  |
| その他の費用・手数料          | ●有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。<br>※売買委託手数料などの「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。<br>●受益権の上場にかかる費用および対象指数の商標の使用料（商標使用料）ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額を、受益者の負担として信託財産から支払うことができます。<br>※提出日現在、商標使用料は信託財産の純資産総額に、年率0.04%以内を乗じて得た額となります。<br>※提出日現在、上場にかかる費用は以下となります。<br>・年間上場料：毎年末の純資産総額に対して、最大0.00825%（税抜0.0075%）<br>・追加上場料：追加上場時の増加額（毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のものからの増加額）に対して、0.00825%（税抜0.0075%） |  |

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

### ●指數の著作権等について

FactSet および FactSet Japan Semiconductor Index は、FactSet UK Limited およびその関連会社の商標であり、Global X Japan 株式会社による使用が許諾されています。FactSet UK Limited は、当ファンドの支援、保証、販売もしくは販売促進をしている

わけではなく、また、当ファンドへの投資の妥当性については一切表明しません。FactSet UK Limited は、当インデックスまたはそこに含まれるデータの正確性および、または完全性を保証するものではなく、FactSet UK Limited はその中のいかなる誤り、欠落または中断について一切の責任を負わないものとします。

### ●当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、Global X Japan 株式会社が作成した情報提供資料です。ETF を金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。金融商品取引所における取引価格と基準価額は異なります。金融商品取引所における価格情報等については、売買をお申込みになる証券会社にお問い合わせになるか、ETF が上場する金融商品取引所のウェブサイト等をご覧ください。株式または金銭の拠出により当ファンドの取得（応募、追加設定）をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社（指定参加者）よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また、当資料中における運用実績等は参考とする目的で過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。また、当資料の内容についての著作権は、当社その他当該情報の提供元に帰属しています。また、当資料で掲載した画像等はイメージです。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料で紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ETF に組入れることを示唆・保証するものではありません。